

平成 19 年 6 月 教育委員会定例会会議録

1 開会の日時

平成 19 年 6 月 22 日（金） 午前 9 時 30 分

2 出席委員

奥寺 康彦 委員長
出光 ケイ 委員
齋藤 道子 委員
三浦溥太郎 委員

3 出席説明員

管理部長（教育長職務代理者）	大坂 茂夫
管理部総務課長	長澤 潤
管理部学校再編担当課長	奥田 幸治
管理部教職員課長	阿部 信行
管理部総合高校担当課長	井上 昭
管理部学校管理課長	高田 利男
生涯学習部長	外川 昌宏
生涯学習部生涯学習課長	永塚 高行
生涯学習部学校教育課長	渡辺 浩
生涯学習部学校保健課長	横山 治久
生涯学習部スポーツ課長	大場 智和
教育研究所長	阿部 優子
中央図書館長	根本 博行
自然・人文博物館博物館運営課長	柳田 泰光
美術館美術館運営課長	森山 武

4 傍聴人 なし

5 議題及び議事の概要

委員長 開会を宣言

委員長 本日の会議録署名人に三浦委員を指名した。

議案第 35 号は人事案件のため秘密会とすることを提案、「総員挙手」をもって秘密会とすることを決定。

教育長職務代理者報告

平成 19 年 5 月 26 日から本日までの所管事項についてご報告させていただきます。

まず 1 点目は教職員の不祥事についてでございます。各教育委員の皆様には事件発生後ただちにご連絡をさせていただきましたが、6 月 21 日(木)の朝、市立中学校の教諭 43 歳男性が神奈川県迷惑行為防止条例違反により現行犯逮捕される事件が発生しました。事件の詳細については、現在警察で取り調べ中でございます。事件の内容については後ほど所管課長から説明させていただきますが、教育委員会としては 6 月 26 日に市内全小中学校の校長を緊急に召集し、綱紀の肅正の徹底を促します。今後このような事案が発生しないよう徹底いたしたいと思っております。大変申し訳ございませんでした。

第 2 点目は、横須賀市市議会第 2 回定例会についてです。平成 19 年 5 月 31 日から 9 日間の会議で市議会第 2 回定例会が開催されました。本会議での教育委員会関係の質疑については、美術館の施設に関するものがございました。この件については後程美術館運営課長からご報告させていただきます。会期中の 6 月 6 日に教育経済常任委員会の委員による所管施設の視察がございました。教育委員会に関しては、岩戸にあります市立養護学校と美術館を視察していただきました。いずれも本市の学校教育分野及び生涯学習分野における重要な施設です。市議会議員の皆さんには現場を視察していただき、教育委員会といたしましても教育行政をより一層充実するように努力したいと考えております。

(奥寺委員長)

このような事件というのは、今の時代を考えると、これからも起きうると思います。校長を集めて話しをするということもありましたが、どういう方法をとれば有効かはわかりませんが、本当にそれで十分なのかという思いはあります。おかしい行動をとる人達も増えてきているし、もっと注意を払っていく必要があると思います。またこのような事件があると子ども達の間でもメールであつという間に伝わってしまい、子ども達の信頼を失ってしまいます。こういう事件への防止策というのを教育委員会で考えてく必要があると思います。

その他の質問等なし

日程第 1 議案第 34 号『平成 20 年度横須賀市立横須賀総合高等学校の
入学者の募集及び選抜要綱制定について』

委員長 議案とすることを宣言

(学校教育課長)

議案第 34 号 平成 20 年度横須賀市立横須賀総合高等学校の入学者の募集及び選抜要綱制定についてご説明申し上げます。これは、平成 20 年度横須賀市立横須賀総合高等学校の入学者募集の基本方針として、要綱を制定するものでございます。昨年度と変わった点についてご説明いたします。

3 ページの 7、「選抜のための検査」、(1)「前期選抜」をご覧ください。「ア 全日制の課程」は、「面接する。」となっております。この部分につきましては、昨年度までは「面接及び作文とする。」となっておりますが、「作文」による検査を廃止したことにより、「作文」という文言を削除いたしました。過去 3 年間は、「面接」と「作文」により、評価してきましたが、「総合学科である本校での学習や学校生活に対する意欲」については、直接、受験者と向き合える面接だけで、十分、選抜資料として成り立ち、選抜できるとの理由から廃止いたしました。なお、学力検査等の期日の公式発表は、県立高等学校を設置する神奈川県、市立高等学校を設置する横浜市、川崎市もそれぞれの教育委員会に「平成 20 年度県立及び市立高等学校の入学者の募集及び選抜要綱」を付議することになっております。

県と横浜市、川崎市と本市の三市教育委員会の議決後に、「公立高等学校入学者選抜日程」として、記者会見を行う予定になっております。従いまして、ここでは日程等については詳しく申し上げることはできませんので、ご了承ください。以上で、平成 20 年度横須賀市立横須賀総合高等学校の入学者の募集及び選抜要綱についての説明を終わらせていただきます。

(出光委員)

今話のありました昨年との変更点で、作文を削除したというのは、作文ではあまりよくわからないのか、志願者の文章力が低下しているのか、IT化が進むに連れて文字を書くのが苦手になっているなどいろいろと考えられるのですが、どのような理由でしょうか。

(学校教育課長)

第 1 としましては、作文ではあまり差がつかないということ、また面接の

方が意欲という点で、資料としてはっきりと役立てるという理由です。

(出光委員)

参考に伺いたいのですが、昨年までの作文のテーマというのはどのようなものだったのでしょうか。

(学校教育課長)

本校を目指した志望理由のようなものです。

(齋藤委員)

作文では差がつかなかったということですが、テーマ的にそういうものだと差がつかないという気はしますが、分量としてはどのくらい書かせていたのですか。

(生涯学習部長)

400字以上、600字から800字くらいだと思います。

(齋藤委員)

面接形式というのはどのようになっていますか。

(学校教育課長)

教員が3人1組で面接します。1人について15分程度実施します。

(出光委員)

いろいろな企業の人事部長などにお話を伺うと、面接で採った人が、入ってみたら全然違うという話を伺うのですね。人事のエキスパートの人が見ても、見抜けなかったと。どこでも非常に難しい問題と思いますし、彼らはまだ可能性がいっぱいある若い方達だとは思いますが、今までにそれに似たような事例はありましたか。

(学校教育課長)

総合高校に入りたいという意欲があるということですので、自分を隠すというようなことはないかと思います。

(出光委員)

自分を隠すというよりも、みんなアピールが上手になってきているのでは

と思うのですが。

(生涯学習部長)

もちろん面接も作文も練習してきます。作文を実施している学校が少なくなってきた中で、そういう中で、作文ではそれほど差がつきません。面接の方がよく分かるだろうということで、今回作文の時間を面接に回しました。少なくとも昨年よりも面接に時間を費やせませう。面接についても練習をしてきますから、なかなか見抜けないとは思いますが、中学校からの書類もありますので、様々に判断をしながら選抜をしていくということになるかと思ひます。場合によって学校に合わなかったという方は、どこの学校でもいらっしやると思ひます。ただ、いままでの状況をみていますとその率は非常に少ないと思ひますので、教育委員会としては、学校が選抜の方法のなかで面接を充実させていきたいということについて、支持していきたいと思ひておひります。

(出光委員)

ちなみにその面接には校長先生も入られているのですか。

(学校教育課長)

学校長は入らず、職員で対応しておひります。

(出光委員)

できれば面接のなかに、練習では想定できないような質問も用意していただくとういおと思ひます。

(生涯学習部長)

これも非常に難しくて、面接のなかで聞いてはいけない項目もたくさんあります。個人情報の問題もありますので、学校の方でもいろいろ苦勞して選抜をいたしているところでおひります。

他に質問、討論なく、採決の結果、議案第 34 号は「総員挙手」をもって、原案どおり可決、確定する。

委員長 報告事項を聴取することを宣言

(教職員課長)

冒頭ありました教職員の不祥事についてご説明いたします。警察発表によりますと、既に新聞記事に多数出ておりますが、該当教諭は平成 19 年 6 月 21 日午前 7 時 50 分頃京急追浜駅の外階段のエスカレーターにおいて、通学途上の被害者の後方から、持っていたデジタルカメラでスカート内を撮影しようとしたところを目撃した地方公務員男性に発見され、取り押さえられたものとして発表されております。高校生の後ろにピッタリとくっついて撮ろうとしていたところをエスカレーターで右側から追い越そうとしてきた男性がそれを発見して、盗撮ということで、とんできた警察官に取り押さえられたということでございます。加害者は名前も出ていますが、43 歳の男性教諭で、平成 3 年に正規教員として横須賀に配属された教員です。それまでは市内の中学に何年か臨時的任用職員の経験をしていて、採用試験に合格したのが平成 3 年です。現在の中学校には昨年度に赴任して、現在 2 年目ということでございます。

この事件を受けまして学校は夜 7 時に緊急保護者会を開催しました。保護者会については夜 7 時からの開催ということで、出席者が約 180 名でした。全校生徒が 473 名おりますので、50%弱くらいの参加でした。内容としましては、校長から事件の概要、こども達の今の様子とか心のケアをスクールカウンセラーやこころの相談員が対応するなどの配慮をしていきますということ、また数学の教諭なのですが、教頭が数学の免許を持っているので、授業は教頭をお願いするということで、勉強はしっかりできますということで話しをしました。再発防止に向けても頑張っていきますということで校長から話しをしまして、保護者からの質問として、特に大きなものはなかったのですが、テストが終わったばかりで、テストはいつ返ってくるのかという質問や、この教諭がテニス部の顧問だということで、部活はどうなるのですか、というような質問がいくつか出たということでした。最後は、校長はじめ全職員がお詫びをして、そのときに拍手が起きて、学校頑張れよというような雰囲気、概ね理解を得て学校を応援してくれるというような雰囲気のなか 7 時 40 分くらいに終了したと聞いております。

それからまた職務代理者から話がありましたが、来週早々に小中学校の校長を集めて、今回の事件の概要を説明し、綱紀保持・綱紀粛正について、ひとりひとりの職員が自分は公務員なんだと意識をしてもらうなど、徹底をしていきたいと考えております。

(生涯学習部長)

昨日の朝からずっと、学校教育課長と担当の指導主事が学校に詰めており

まして、保護者会までずっとおりましたので、その様子について説明をいたします。

(学校教育課長)

昨日の様子についてご説明させていただきます。詳しい情報はなかなか入らず、最終的に分かりましたのは12時15分のNHKのニュースでございました。それで事実がはっきりしたので、まず生徒にどう伝えるか、また保護者にどう伝えるかということで、生徒につきましては授業終了後、帰りの支度をしまして、体育館で事実を伝えました。そのときの様子ですが、子ども達は微動だにしないという大げさですが、目が点のようになっていました。また3年生から校長先生に、頑張ってくださいという声がありまして、校長先生も言葉が詰まり、ありがとうということになりまして、生徒達は概ね変化がありませんでした。ただ一人だけトラウマ的に過去に同じような経験をしたお子さんらしいのですが、学校教育課のスーパーバイザーも学校に行っておりましたので、昔のことを思い出してしまったという相談がありました。その子も10分くらいの面談で、元気に頑張りますということで大丈夫でした。保護者会につきましては、教職員課長からも話しがありましたが、生徒集会のときに子供たちに手紙を渡しました。そのわずか数時間後にどれくらいの保護者が集まるだろうかと心配しておりましたが、200人近くが来たということで、かなりの出席者でございました。保護者会の方でも、最初15分くらいで終わる気配で、全く質問も出ませんでした。あまりにも淡々と流れてしまったので、再度学校長の方からお詫びをし、そのときに教職員も全員起立をしてお詫びをいたしましたところ、保護者の方から拍手が起きたり、頑張ってくださいとの声があったり、概ね理解が得られたのではとおもっております。

学校に終日おりました、こういう事件が起きたときには、とにかく早く連絡をすることが大事だと思いました。最初なかなかPTAの役員に連絡がとれない状況でして、保護者にも失礼ではないかという理由から1日ずらそうかという話しもあったのですが、結果から申しまして、やはりなるべく早く対応するというのが一番理解を得られる方法ではないかと思えます。新聞で知ってから行動を起こすのではいろいろな噂も飛び交い、また尾ひれもついてしまい、かえって収集がつかなくなってしまいます。それではやはりそれは不親切であろうということで、なるべく早い段階でということで行ったのが今回の一番良かった点かと思えます。

また今朝なのですが、坂本中の職員が各地域に出まして、生徒の登校の様子を見ていました。特に変わった様子はないという報告がきています。また

被害者についてですが、本日スーパーバイザーが出向いておりまして様子を見ておりますが、通常と変わらず授業を受けているということで、その点は少し安心したところであります。

（奥寺委員長）

やはり対応が大事だと思います。ちょっとしたことでタイミングがずれてしまうといろいろ突っ込まれるし、そういう部分ではなかなかいい対応をしていただいたかと思います。今後もこういうことが起こることもあるかとは思いますが、対応の部分はまたしっかりとお願いしたいと思います。

委員長 日程第2の審議の前に報告事項を聴取することを宣言

報告 『「年間パスポート及び前売り券」の販売開始について』

（美術館運営課長）

美術館運営課より、「年間パスポート及び前売り券」の販売開始につきましてご報告申し上げます。お手元の資料に沿ってご説明申し上げます。1の年間パスポートにつきましては、資料にございます3つの特典を設けました。

年間パスポート制度導入の目的は、一つ目はリピーターの確保、二つ目は、お客様にお客様を呼んでもらう相乗効果の創出でございます。期待される効果につきましても、基本的には、ただ今申し上げました目的と同様ですが、冬場などの閑散期における集客効果、静かに落ち着いて観覧できるということ。それから年間を通じて、横須賀美術館の良さを知り、感じていただける効果というものがあろうかと考えております。これらを勘案いたしまして、資料にございます3つの特典を設けることといたしました。

続きまして、2の前売券ですが、こちらは観覧料の2割引となります。なぜ7月1日スタートとしたのか、につきましては、資料の3にございます販売場所の調整に時間を要したためでございます。年間パスポートや前売券を販売するにあたりまして、美術館だけの販売では、お客様の利便性がよくないため、販売委託先を検討してまいりました。

今回、横須賀芸術劇場チケットセンターを介しての販売の調整が整い、7月1日からのスタートといたしました。資料の3の にございますとおり、横須賀芸術劇場チケットセンターは、市内の中心市街地2箇所に窓口を持っており、美術館と併せて3箇所での販売となります。劇場とは、販売額実績に一定の率を乗じた額で委託契約をいたします。今後、更に窓口を増やすことに関しましては、手数料と効果等を勘案しつつ検討してまいります。

なお販売額等の詳細は、資料の裏面に表記してございますので、ご参照いただきたいと思えます。

引き続きまして、資料はございませんが、先の市議会第2回定例会におきまして、美術館に関するご指摘が1点ありましたので、その内容をご報告申し上げます。議会でのご指摘内容は、谷内六郎館の海側の窓が塞がれている事に関するものです。趣旨は、横須賀美術館の特徴やコンセプトを考えれば、窓を塞ぐのはおかしいのではないか、どのような過程で窓を塞ぎ、今後、窓を開ける意図はないのか、というものでございます。

答弁における回答内容の概要ですが、谷内館の展示が、今回は初期の作品であり、絵の具等の関係から、紫外線に対する配慮が特に必要となり、また美術館オープンまでの時間的制約もあり、窓を塞ぐ対応策としたものです。窓の開放につきましては、限られた休館日や展示替えの機会を捉え、実験などをしながら窓を開放するための具体的方策を検討することとしております。簡単ではございますが、以上でご報告とさせていただきます。

(出光委員)

パスポートについては当日発行で、当日から割引が効くのですよね。写真撮影とかそれに要する時間とかその辺りの流れは整っているのでしょうか。

(美術館運営課長)

パスポート券でございますが、顔写真などはのせません。その場で発行なのですけれども偽造防止用のホログラムと申しまして、お札の端などについているようなものが加工されたもので、本人に裏面に署名していただく欄がございますので、番号と確認してそこで販売してその場で交付させていただくという形をとります。

(出光委員)

それでは認証は大丈夫だということですね。

(美術館運営課長)

他館の状況も比較いたしまして、それで偽造されたり悪用されたりということはないという確認をとっておりますので、そのような形で進めております。

(齋藤委員)

5月末に一度美術館に伺ったのですが、一利用者としての印象なのですけ

れども谷内六郎館から数歩歩いた小さな建物で、DVDの映写をやっている場所が分かりにくいです。どこから入るかが分からなくて、私自身も分からないでいたのですが、後ろから来た方が分からないねと言って帰ってしまったのです。ですから、もっと分かるように案内してあげた方が良いかと思えます。

それからもう1点は、駐車場の1台あたりのスペースがあまり広くないのですね、大きな車が停まっているとそんなに余裕がなくて、接触事故がないといいのですが、そういう事故はないのでしょうか。

(美術館運営課長)

まず一つ目の谷内六郎館の別館の入口の分かりづらさなのですが、ご指摘のとおり、他にもトイレですとか、そもそものメインエントランスが横から見ると分かりにくいということをいろいろなお客様からご意見いただきまして、適宜看板を立てて対応しています。また展示監視員が誘導できるようにという指示もその後重ねています。美術展示品と案内版のバランスが難しいところではございますけれども、その点をご指摘をいただきながら、なるべく美術館の景観を壊さないような表示の方法というのをさせていただいております。

二つ目のご質問ですが、駐車場のスペースは確かに若干小さめになっております。接触事故に関しましては、幸いにしてございませんといえますが、厳密にいいますと出入口のところで縁石に乗り上げたという事例が二つほどあると聞いておりますが、いずれも自分でハンドルの切り方が良くなかったということで、事が収まったという風に聞いております。

(出光委員)

ちなみに開館以来駐車場が満車になったことはありますか。

(美術館運営課長)

ゴールデンウィークの期間中はかなり満車になりました。時間推移をみておりますと、最終的には、一般乗用車が120台の容量なのですが、2回転するぐらいでございました。そのときは、周辺の県営駐車場も午前10時までには全て満車になっていると、県営と30分ごとにFAXで駐車場の状況をやりとりしながら、交通整理に当たっておりましたが、連休中は満車になりました。それ以外の土日は、今のところ大丈夫です。

(出光委員)

最大待ち時間はどれくらいでしょうか。

(美術館運営課長)

細かく計測しているわけではないのですが、満車になったときにお並びいただいている車がございまして、概ね 15 分～20 分お待ちいただいているのが、今までで一番長かったようです。

他に質問等はなく、以後の議案が人事案件のため秘密会となることを宣言。関係理事者以外の退席を求めた。

(秘密会)

6 閉会及び散会の時間

平成 19 年 6 月 22 日 (金) 午前 10 時 30 分

横須賀市教育委員会
委員長 奥 寺 康 彦